

【優先して整備する道路】

- 評価対象路線を評価した結果は、以下のとおりです。
- このうち、赤色で示す「高位」の路線を、優先して整備する道路として位置づけます。

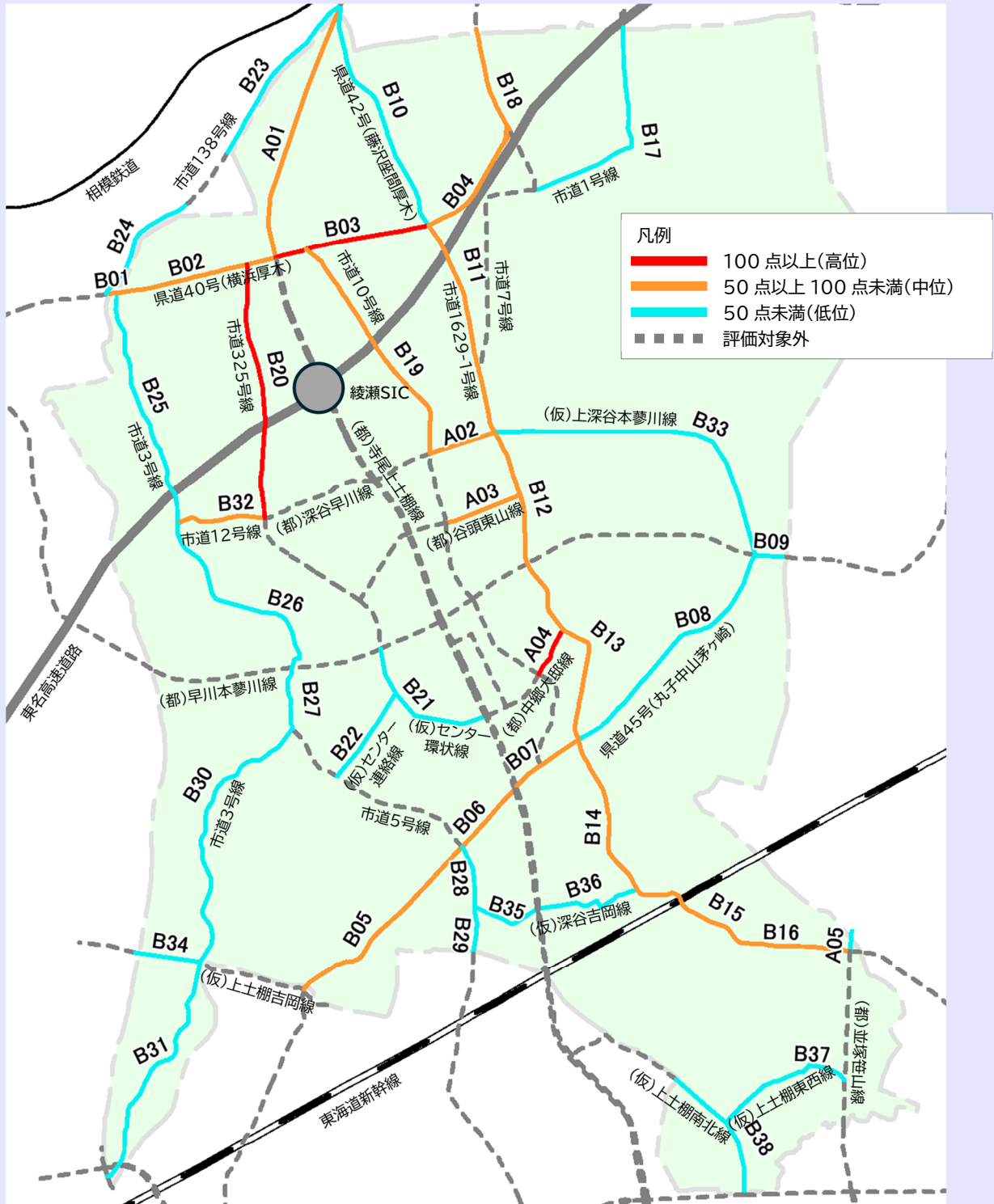


図 優先して整備すべき路線の評価結果

1 計画の概要

2 交通の現状

3 交通をとりまく課題

4 将来交通像基本方針

5 基本方針別の施策

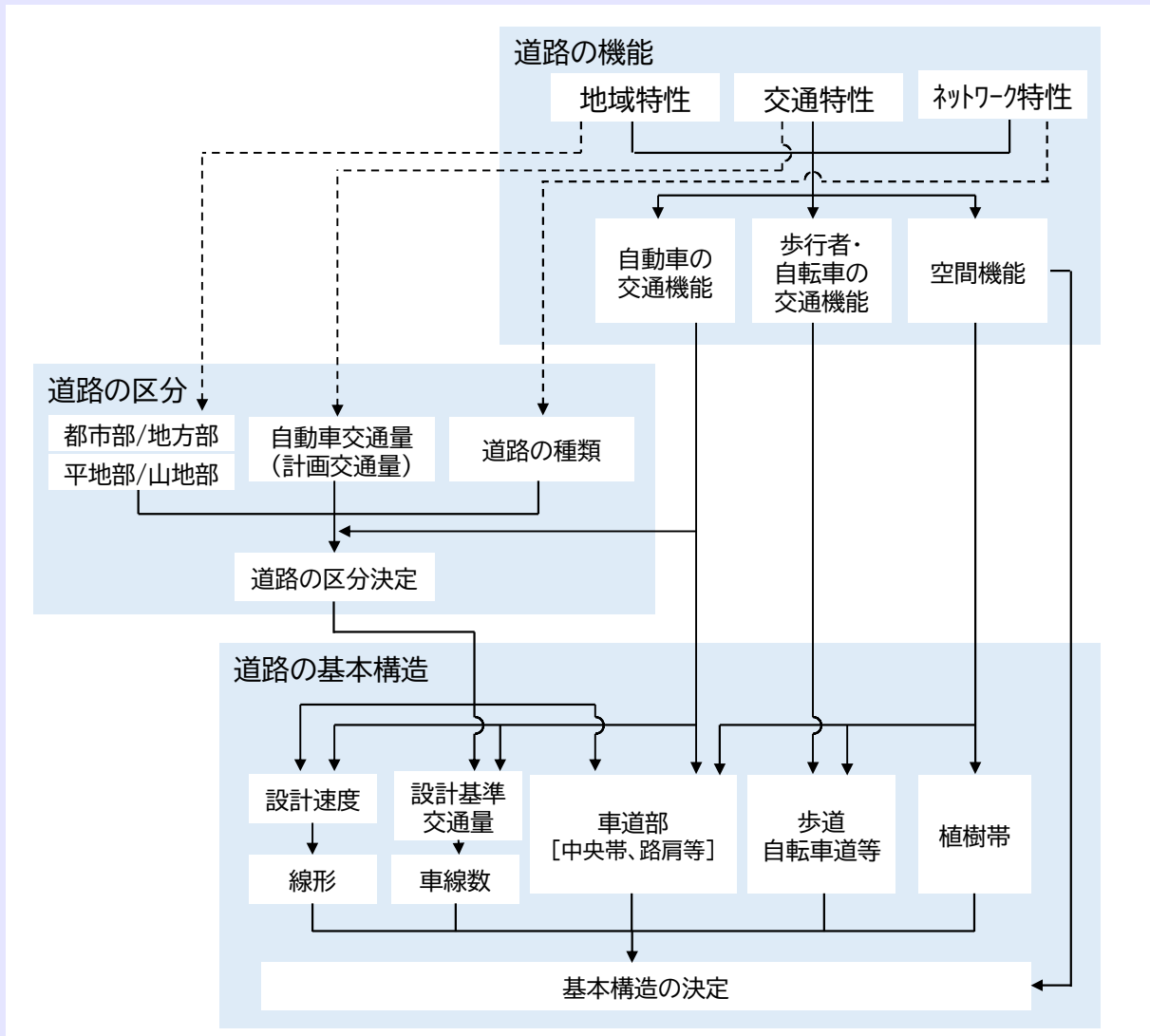
6 計画の推進

資料編

【道路空間構成の考え方】

① 基本的な考え方

- 道路の構造は、主に車道部、歩道部、植樹帯から構成されています。自動車交通量等を基にした道路区分(道路規格)を基本として、歩行者・自転車の交通機能及び空間機能を加味して総合的に決定されます。
- 幅員設定にあたっては、単に自動車の計画交通量だけでなく、歩行者・自転車の流動状況、集客施設の立地状況、道路の沿道状況等を考慮して、かつ地域実情に応じた幅員を検討するものとします。



(出典)道路構造令の解説と運用

図 道路区分適用の考え方

1 計画の概要

2 交通の現状

3 交通をとりまく課題

4 将来交通像・基本方針

5 基本方針別の施策

6 計画の推進

資料編

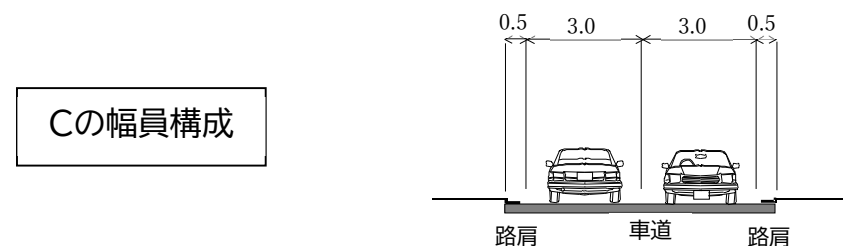
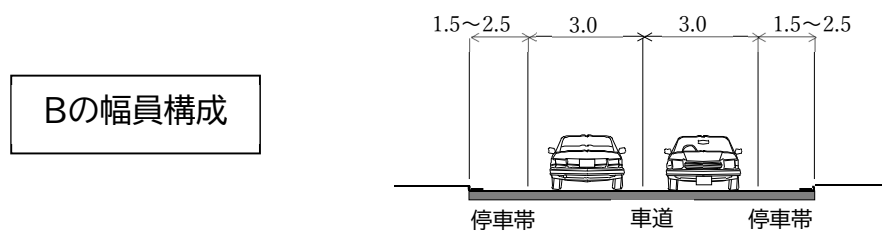
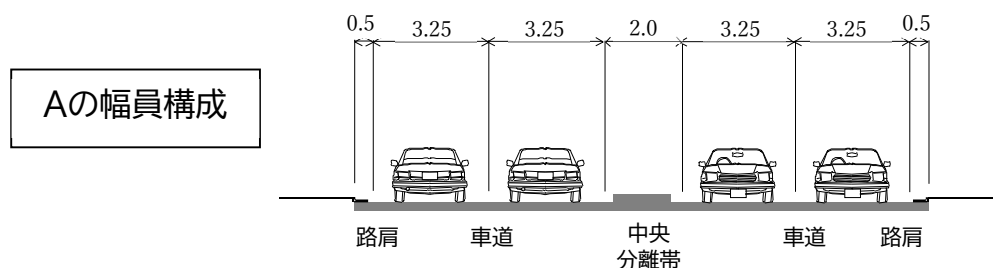
② 道路一般部における幅員構成(参考)

<車道部>

- 車道部の幅員は、以下の表(案)を基に検討します。

表 車道部の幅員構成(案)

道路機能	設定の考え方	沿道土地利用		
		中心拠点 集客施設周辺	周辺市街地	工業団地
主要幹線道路	広域的な通過交通を処理する道路として交通需要に応じた車線数を確保する。また、トラフィック機能を重視し、沿道へのアクセスを抑制するため、基本的に停車帯を設けない構造とする。	A 必要に応じ荷捌き場を設ける	A	A 必要に応じ停車帯を設ける
幹線道路	一定のトラフィック機能の確保に努めるが、沿道の土地利用状況に考慮し停車需要が多い箇所については、停車帯を設置する。	B・C	C	B・C
地区幹線道路	地区内の主たる交通を処理する必要最小限の道路空間を確保する。	C	C	C

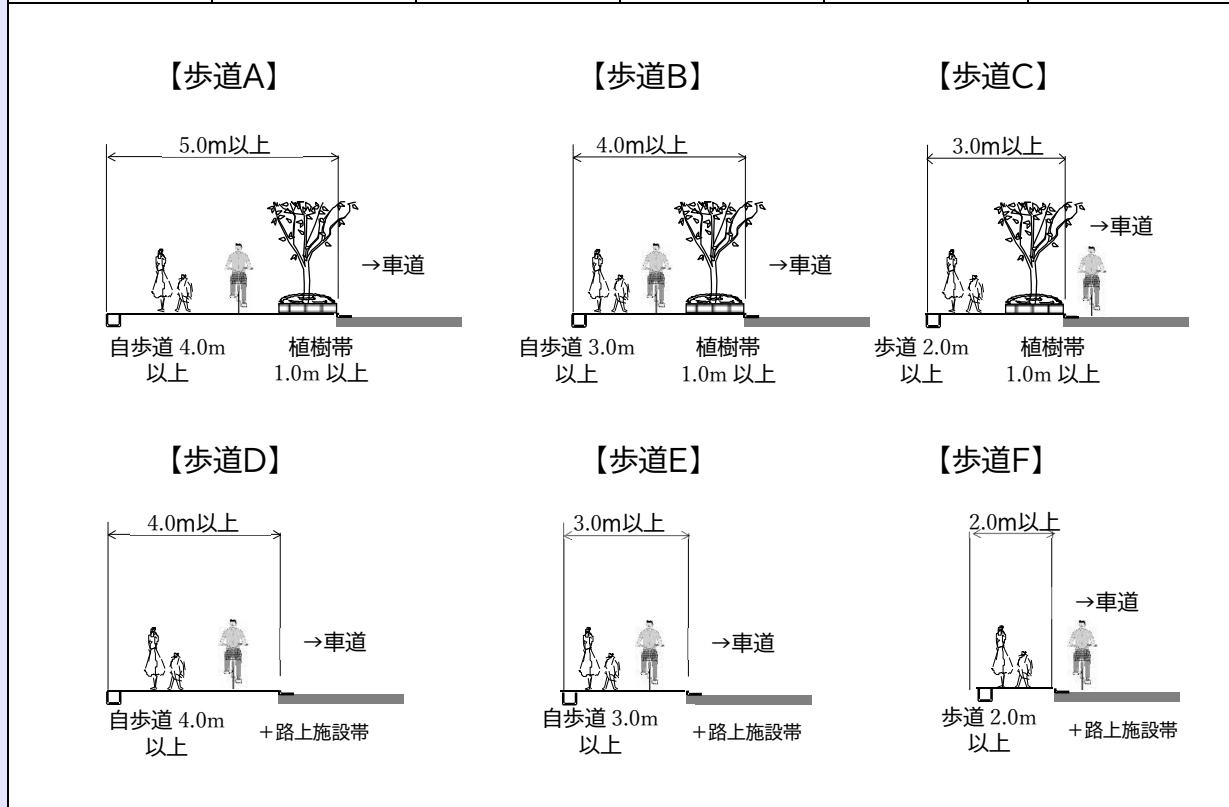


<歩道部>

- 歩道部の幅員は、以下の表(案)を基に検討します。

表 歩道部の幅員構成(案)

道路機能	歩行者交通量	自転車交通量	沿道土地利用		
			中心拠点 集客施設周辺	周辺市街地	工業団地
主要幹線道路	多い	多い	A	A・B	A・B
		少ない	B・C	B・C	B・C
	少ない	多い	B	B	B
		少ない	C	C	C
幹線道路	多い	多い	A・B・D・E	A・B・D・E	A・B・D・E
		少ない	B・C・E・F	B・C・E・F	B・C・E・F
	少ない	多い	B・E	B・E	B・E
		少ない	C・F	C・F	C・F
地区幹線道路	多い	多い	A・B・D・E	A・B・D・E	A・B・D・E
		少ない	B・C・E・F	B・C・E・F	B・C・E・F
	少ない	多い	B・E	B・E	B・E
		少ない	C・F	C・F	C・F



1 計画の概要

2 交通の現状

3 交通をとりまく
課題

4 将来交通像・
基本方針

5 基本方針別の施策

6 計画の推進

資料編

取組方針1-2 広域移動を支える公共交通の維持

施策：公共交通サービス・ネットワーク水準の維持

【施策展開イメージ】

- 快適に安心して利用できる持続可能な公共交通サービス・ネットワークの維持を目指すために、交通事業者等と相互に連携を図りながら、地域公共交通の活性化を推進するための計画等の作成を検討する。

<取組の例>

- ・ 地域公共交通計画の作成
- ・ バスルートの再編
- ・ バス優先レーンの整備 等

【施策展開イメージの実施例】

	取組内容	実施機関	実施イメージ		
			短期	中期	長期
STEP1 市内の公共交通サービスの検証、課題の整理	市内の交通サービスについて、調査等によりニーズを把握し、課題を整理する。	・地域公共交通所管課	短期までに実施 □		
STEP2 地域公共交通計画の作成	地域公共交通計画を作成する。	・地域公共交通所管課 ・交通事業者 ・学識経験者	短期までに実施 ■		
STEP3 計画の実施 (バスルートの再編等)	作成した地域公共交通計画に沿ってバスルートの再編等の推進を図る。	・地域公共交通所管課 ・交通事業者	中期までに実施 ■		▨

(□: 施策の準備・検討 ■: 施策の展開・実施 ▨: 施策の継続・運用)

【施策展開イメージ】

- 自家用車に依存しない交通体系を目指し、公共交通への利用転換を促す仕組みづくりや、利用の動機付け、魅力等の発信などに取り組み、公共交通の利用を促進する。

<取組の例>

- ・ サイクルアンドライド*13
- ・ パークアンドバスライド
- ・ モビリティ・ハブの充実
- ・ 情報発信、魅力発信 等

【施策展開イメージの実施例】

	取組内容	実施機関	実施イメージ		
			短期	中期	長期
STEP1 ・ 公共交通への利用転換策の検討 ・ 効果的な情報提供方法の検討	公共交通への利用転換策や効果的な情報提供方法等について情報収集を行い、現状に合った施策の検討を進める。	・ 地域公共交通所管課	短期までに実施 □		
STEP2 ・ 公共交通への利用転換策の実証実験 ・ 効果的な情報提供の実証	検討した施策について実証実験等を行い、効果検証の実施を図る。	・ 地域公共交通所管課	短期までに実施 □		
STEP3 ・ 利用転換を促す施策の実施 ・ 公共交通の魅力の発信	実証実験等の結果を受けて、施策の実施を図る。 また、公共交通の利用促進のため、広報活動等の実施を図る。	・ 地域公共交通所管課	短期までに実施 ■	■	■

(□ : 施策の準備・検討 ■ : 施策の展開・実施 ▨ : 施策の継続・運用)

*13 サイクルアンドライド

自宅から自転車で最寄りのバス停や駅まで行き、バス停や駅に設置された駐輪場に止め、公共交通機関(バスや鉄道など)に乗り換えて目的地まで向かう、公共交通の利用を促進するシステムのこと。

取組方針1-3 地域内の移動を支える交通手段の充実

施策：地域内の移動を支えるモビリティサービスの検討

【施策展開イメージ】

- 地域ごとの課題や地域内のきめ細かな移動ニーズを考慮しながら、ラストワンマイルの移動手段としてシェアモビリティやデマンド型交通を活用した配車サービス等の新たな技術やサービスについての調査・検討を行い、サービス事業者との連携・協議を図りながら、多様な交通モード*14の導入に向けて検討を図る。

<取組の例>

- ・ シェアサイクル
- ・ カーシェアリング
- ・ AI デマンド型交通 等

【施策展開イメージの実施例】

	取組内容	実施機関	実施イメージ		
			短期	中期	長期
STEP1 ① 移動ニーズ調査 ② シェアサイクル実証実験	① アンケート調査等により、移動ニーズを把握する。 ② 引き続きシェアサイクル実証実験を行い、効果や課題を把握する。	・地域公共交通所管課	短期までに実施 ① ②		
STEP2 移動ニーズに応じた交通モードの導入に向けた検討	移動ニーズに応じた交通モードについて検討を進める。	・地域公共交通所管課 ・交通事業者 ・学識経験者	短期までに実施		
STEP3 移動ニーズに応じた交通モードの導入	移動ニーズに合わせて、交通モードの導入を図る。また、モニタリング結果を踏まえ、利用促進策等の推進を図る。	・地域公共交通所管課 ・交通事業者 ・学識経験者	中期までに実施		

(□ : 施策の準備・検討 ■ : 施策の展開・実施 ▨ : 施策の継続・運用)

*14 交通モード

人や物を移動させるために使用される手段や方式のこと。